キャラクター名

ハイラト

プレイヤー名

ポジション	コート	**享年**	11歳
メインクラス	バロック	**暗示**	陥穽
サブクラス	バロック	**寵愛点**	113

初期配置	煉獄
最大行動値	9

能力値	クラス	修正	合計
武装	0	1	1
変異	4	1	5
改造	0	0	0

記憶のカケラ	内容
廃棄	捨てられた。そう思っていた。けれど、あなたは捨てられたのではなく……たまたま、運悪く、投げ出されてしまっただけ。
密室	あの時閉ざされた閉塞感ったらう。暗い、自分と病が一緒に重なっていた閉鎖感ったら気がする。パカパカとゆ鳴り響打つ。大丈夫、大丈夫、…そう言い聞かせていたのに、後ろから誰かの声が聞く「言の」で——あなたは『おじさん』に捕まった。
ひとりぼっち	どうしてひとりぼっちになったのか？ あなたはそれを思い出す。あの日は暑い日で、あなたは家族と車に乗っていて——前から、フラフラと別の車がきてきた。その後の光景は思い出せないけれど——気がつけば、あなたの周囲は、あなたのそばには居なかった。
窓から	窓から覗きたあの子。どうしよう。どうしよう。そう考えるうち、気ハ!と目に触れた誰かの姿が口開。一笑っている？ まさか、まさかそんなことがあるはずはない。けど、このままはだめ、そう思い込みたかった。自分は、彼女の思惑通りに動いてしまったんじゃないかと。
手をつなぐ	ひとりで震えていたあなたの手を、誰かがとってくれた記憶。その手はそのまま、あなたを抱き上げた。そして、連れて行ってくれたのだ。その人はその日から、あなたの『お父さん』になった。
破滅の足音	見知らぬ閉塞に、何日も閉じ込められた。最初は自分を含めて四人だった。けれど一人、また一人と連れていかれて……最後、自分を迎えに来た足音。それは扉を開け、冷たい目で自分を見てます。手を引かれたとき、自分は縋れるのだと確信した。
【卒業】	あなた達は卒業した。卒業証書も、華やかな装飾も何もなかったけれど。将来のことはこれから決める。未来のことはこれから決める。まだまだ子供なのだから、やっと卒業したのだから——夢の一つや二つ、見たって構わないだろう。

未練

対象	種類	狂気点		発狂時ペナルティ
たからもの	依存	3	①②③④⑤	パーツとして所持。破壊で狂気点+1
カンテラ	友情	1	①②③④⑤	
スプリーム	憧憬	1	①②③④⑤	
マイリー	信頼	1	①②③④⑤	
ククリ	嫉妬	2	①②③④⑤	
		0	①②③④⑤	

マニューバ

タイプ	損傷	名前	使用	タイミング	コスト	射程	効果
頭		のうみそ		オート			2
頭		めだま		オート			1
頭		あご		アクション	2	0	肉弾攻撃１
腕		こぶし		アクション	2	0	肉弾攻撃１
腕		うで		ジャッジ	1	0	支援１
腕		かた		アクション	4	自身	移動１
胴		せぼね		アクション	1	自身	次カウントで使うマニューバ１つのコスト-1
胴		はらわた		オート			
胴		はらわた		オート			
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		ほね		アクション	3	自身	移動１
脚		あし		ジャッジ	1	0	妨害１
				オート			
ポジション		看破		ラピッド	0	0～3	対象の「ラピッド」「ダメージ」「ジャッジ」マニューバ1つの効果を打ち消す。
メインクラス		再生		ダメージ	1	自身	防御1、1ターンに何度でも使用可
メインクラス		業躯		オート		自身	バトルパート終了時、望むパーツ2つを修復可
メインクラス		結晶化		ダメージ	1	自身	受けたダメージに付属した「切断」「爆発」「移動」は全て無効化される。このマニューバは1ターンに何度でも使用してよい。
サブクラス		歪極		オート		自身	レベル3変異パーツ自動取得
サブクラス		冥王		オート		自身	レギオンからの移動妨害無効・レギオンからの攻撃は判定値7以上でなければダメージを受けない
サブクラス		肉の宴		アクション	1	自身	損傷した基本パーツ1つを修復。
サブクラス		庇う		ダメージ	0	0～1	対象が受けたダメージを代わりに自身が受ける。このマニューバは1ターンに何度でも使用してよい。
				オート			
胴		いれずみ		オート		自身	バトルパート終了時、このパーツと損傷基本パーツ1つを修復可
腕		たかのめ		オート		自身	バトルパートにてターン終了時、このパーツが損傷していたなら修復してよい。
腕		よぶんなめ		ジャッジ	0	0～1	支援2
胴		おとこのこ		オート		自身	対話判定出目+1
頭		にくへび		アクション	3	0	肉弾攻撃2+連撃2